

HiKOKI

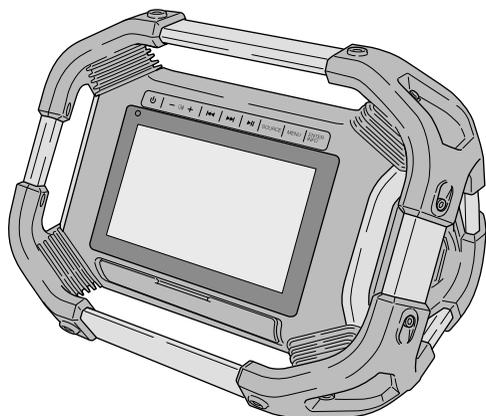
取扱説明書

用途

- 地上デジタル放送を見る
- FM ラジオを聞く
- Bluetooth 対応機器の音楽を再生する
- USB メモリー、SD カードの動画、音楽、写真を再生する
- ビデオカメラ、携帯音楽プレーヤーなどの動画、音楽を再生する
- USB 機器を充電する

コードレスラジオ付テレビ UR 18DSML

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用する
ことはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の
性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理
または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be
sold or used in any other country. Otherwise, product may not
perform as intended. No authorized service or warranty is
available outside of Japan.

はじめに

もくじ	1
コードレスラジオ付テレビの安全上のご注意	2
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
聴覚を保護するために	9
外部機器との接続時のご注意	10
Bluetooth 無線技術について	10
結露（露つき）についてのご注意	11
受信できるテレビ放送について	11
著作権について	12
各部の名称	13
標準付属品	16
仕様	17
基本操作	19

準備

ご使用前の準備	22
充電する	27

使い方

テレビを見る	29
ラジオ放送を聞く	31
Bluetooth 機器と接続する	33
SDカード、USBメモリーから再生する	34
外部機器の動画、音楽を再生する	37
音質、画質を調整する	38
システム設定する	40
タイマー機能を使う	41
USB 機器を充電する	42

その他

お手入れ・点検・保管	43
故障診断	45
ご修理のときは	裏表紙

もくじ

はじめに

もくじ	1
コードレスラジオ付テレビの安全上のご注意	2
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
聴覚を保護するために	9
外部機器との接続時のご注意	10
Bluetooth 無線技術について	10
結露（露つき）についてのご注意	11
受信できるテレビ放送について	11
著作権について	12
各部の名称	13
標準付属品	16
仕様	17
基本操作	19
電源を入れる	
スタンバイ切換	
ソース選択	
音量調整	
チャンネル切替	
外部機器の再生	
各種設定	

準備

ご使用前の準備	22
バックアップ用乾電池の取付け	
リモコン用乾電池の取付け	
液晶保護フィルムの貼り付け	
miniB-CASカードを挿入する	
ACアダプタの取付け	
蓄電池の取付け・取りはずし	
充電する	27
充電ランプの表示について	

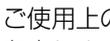
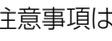
使い方

テレビを見る	29
アンテナの準備	
その他の機能と設定	
ラジオ放送を聞く	31
FM ソース画面	
アンテナの準備	
選局する	
チャンネルの設定	
その他の設定	
Bluetooth 機器と接続する	33
SDカード、USBメモリーから再生する	34
再生できるSDカード、USBメモリーについて	
ファイルリストを表示する	
写真の自動再生条件を設定する	
その他の設定	
外部機器の動画、音楽を再生する	37
その他の設定	
音質、画質を調整する	38
EQ設定	
画面設定	
色温度設定	
アスペクト比設定	
システム設定する	40
日時設定	
システムの初期化	
タイマー機能を使う	41
目覚まし設定	
スリープ設定	
USB機器を充電する	42

その他

お手入れ・点検・保管	43
本体はきれいに	
機体の点検	
製品の保管	
リチウムイオン電池の輸送について	
リチウムイオン電池の保管について	
故障診断	45
ご修理のときは	裏表紙

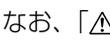
警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」、「 注意」、「 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

 **注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

、、 の絵表示について

 禁止されている事項
(図中に具体的な禁止内容)  実行していただく強制事項
(図中に具体的な実行内容)  注意・警告が必要な事項
(図中に具体的な注意内容)

コードレスラジオ付テレビの安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

 この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池、ACアダプタを使用してください。

指定以外の蓄電池、ACアダプタを使用すると、けがや故障の原因になります。

 この取扱説明書に記載されている用途以外に使用しないでください。

けがや事故の原因になります。

- 誤った使用方法は、爆発、火災、感電、やけどの恐れがあります。

 表示された電源電圧で使用してください。

表示された電源電圧以外では、火災、感電の原因になります。

 ACアダプタのコードを傷つけないでください。

加工したり、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、熱器具に近づけるなどしないでください。

警告

-  使用しない場合は、電源プラグ (AC アダプタ) をコンセント、テレビ本体から抜いてください。
感電や火災の原因になります。
-  ぬれた手で電源プラグ (AC アダプタ) の抜きさしをしないでください。
感電の恐れがあります。
-  電源プラグ (AC アダプタ) は根元まで確実にさし込んでください。
電源プラグとコンセントの間にごみやほこりがたまると、火災の原因になります。定期的に電源プラグを抜き、ごみやほこりを乾いた布で拭き取ってください。
-  電源は直接コンセントからとり、タコ足配線はしないでください。
火災の原因になります。
-  本機の使用周波数帯では医療用電気機器や産業・科学機器、工場の生産ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線 (免許を要する無線局) および特定省電力無線 (免許を要しない無線局) などが運用されています。これらの場所では電波干渉の恐れがありますので本機を使用しないでください。
-  ペースメーカー、その他医療機器をご使用される方は、当該の医療用電気機器メーカーまたは医療機関や販売業者に、電波による影響について確認してください。
-  風呂場やシャワー室では使用しないでください。
ぬれた場所や雨の中でも使用しないでください。
感電や発煙、故障の原因になります。
-  乾電池やSDカード、mini B-CASカードは乳幼児の手の届くところに置かないでください。
誤って飲み込むと、窒息やけがの原因になります。
万一飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。
-  雷が鳴り出したら、本機やロッドアンテナ、電源プラグ (AC アダプタ) に触れないでください。
感電の恐れがあります。
-  機体内部に指定外の物や水などを入れないでください。
金属類や燃えやすい物、水分などが入ると、感電や火災の原因になります。
-  異常を感じたら絶対に使用しないでください。
電源が入らない、音が出ない、本機が高温になるなど、異常を感じたら、直ちに使用を中止し、点検・修理を依頼してください。

警告

分解や改造をしないでください。

感電や火災の原因になります。
点検や修理はお買い上げの販売店に依頼してください。

作業中や歩行中、乗り物を運転中に使用しないでください。

けがや事故の原因になります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。

本機からの電波が、自動制御機器に影響をおよぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

航空機内で使用しないでください。

本機からの電波が、運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、使用しないでください。

本機からの電波が、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠️ 注意

⊘ 本体に腰掛けたり、踏み台にしないでください。

事故や故障の原因になります。

⊘ 不安定な場所や高所に置かないでください。また、ハンドルを使って、つり下げて使用しないでください。

落下などによるけがや故障の原因になります。

⊘ 炎天下の車内や金属箱のような高温（60℃以上）となりやすい場所に放置しないでください。

故障の原因になります。

❗ 必要なとき以外は、外部アンテナ端子、および AC アダプタ端子のゴムカバーをはめておいてください。

事故や故障の原因になります。

❗ 端子カバー・リアカバーは、この取扱説明書で指定した物品の取り出し・収納時以外は閉めておいてください。

事故や故障の原因になります。

❗ 付属のACアダプタは、本製品以外には使用しないでください。

❗ 乾電池の取扱いに注意してください。

乾電池の取扱いを誤ると、破裂したり、液漏れして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の乾電池を使用しない
- 乾電池を加熱・分解しない
- 火や水の中に入れない
- 乾電池は充電しない
- 乾電池のプラス（+）とマイナス（-）を間違えない、短絡（ショート）させない
- 一度使用した乾電池、種類の異なる乾電池を混ぜて使用しない
- 長期間使用しないときは、乾電池を取り出しておく

もし、乾電池が液漏れした場合には、乾電池ボックスに付いた液をよくふき取ってください。

万一、漏れた液体が体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

⚠️ 注意

- ❌ **ロッドアンテナを目や顔に近づけたり、人に向けないでください。**

ロッドアンテナの先端に接触して、けがの原因になることがあります。

アンテナを使用するときは、十分に注意してください。

- ❌ **台所などで高温の蒸気が当たるところ、油煙やほこりの多いところに放置しないでください。**

高温の蒸気で外装ケースが変形し、内部の部品が破損すると、火災や故障の原因になります。

また、端子やカード挿入部などに油煙やほこりがたまり、故障の原因になります。

- ❌ **液晶画面に強い力や衝撃を与えないでください。**

液晶画面に強い衝撃を与えると、割れてけがや傷、故障の原因になります。

- ❌ **液晶画面を、長時間見続けないでください。**

液晶画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下する恐れがあります。体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに使用をやめて休息してください。

万一、休息しても不快感や痛みが取れないときは、医師の診察を受けてください。

- ❌ **リモコンのふたを、開けて使用しないでください。**

リモコンのふたを開けたまま使用すると、液漏れや発熱、発火、破裂の原因になります。

- ❌ **メニュー画面などの静止画面を、液晶画面やテレビ画面に表示したまま、長時間放置しないでください。**

画面に、残像現象を起こす場合があります。

- ❌ **隣近所に、迷惑がかからないような音量で聞いてください。**

夜は小さめな音量でも、周囲に良く通ります。窓を閉めたり、ヘッドホンを使用するなどしてください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

別売のリチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを入れたままでも下記①、②、③の場合、出力が停止する場合がありますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなると出力が停止します。
このときは速やかに充電してください。
- ② テレビ本体が過熱状態になると出力が停止する場合があります。
このときはいったんスイッチを切り、テレビ本体を冷ましてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になると、出力が停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、テレビ本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱、発煙、発火を防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

⚠ 警告

- ❗ 蓄電池に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用中に切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。
- ⊘ 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ⊘ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ⊘ (+)(-)を逆にして使用しないでください。
- ⊘ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガーライターソケットに接続しないでください。
- ⊘ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ❗ 充電の際に、所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ⊘ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。
- ❗ 蓄電池が液漏れしたり、悪臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。
- ⊘ 強い静電気の発生する場所では、使用しないでください。
- ❗ 蓄電池は確実に取付けてください。
蓄電池が抜け落ちて、事故の原因になります。

⚠️ 注意

❗ 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

放置すると液により目に障害を与える原因になります。

❗ 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

皮膚がかぶれたりする原因になります。

❗ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。



○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

聴覚を保護するために

大音量の音を継続して聞くと、永久的な難聴が生じる可能性があります。音量が大きければ大きいほど、短時間で聴覚障害になりやすくなります。

長時間にわたって大音量で聞いていると、聴覚はその音量に適応してしまいます。実際には聴覚に障害を及ぼすような大音量であっても、適度で快適な音量であるように錯覚してしまうことがあります。

聴覚障害にならないように、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠️ 注意

- ❗ **長時間連続で使用せず、耳を休ませるために必ず休憩を取るようにしてください。**
一般的に「安全な」音量であっても、長時間・長期にわたって音を聞き続けた場合、聴覚障害を引き起こすことがあります。
- ❗ **ヘッドホンやイヤホンを使用するときは、音量（ボリューム）を上げすぎないでください。**
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力障害の原因になることがあります。
- ❗ **聴覚が順応するままに、音量を上げないよう気をつけてください。**
音量には「慣れ」があることにご注意ください。聴覚が大音量に適応してしまう前に、機器の音量を安全なレベルに調節してください。
- ❗ **音量は周囲の人の会話や雑音が聞こえる程度に抑えてください。**
- 🚫 **周囲の雑音を遮断する目的のために音量を上げないでください。**
- ❗ **耳鳴りや違和感を覚えたり、会話が不明瞭に感じたりすることがあれば、音楽を聴くのを中止し、病院で聴覚の診察を受けるようにしてください。**

外部機器との接続時のご注意

予期できない問題が生じた場合、本製品に接続したスマートフォン / その他外部機器の内部に保存されているデータが破損したり消失する可能性があります。万一の場合に備えて、必ず事前にバックアップをしてください。

なお、本製品との接続において、スマートフォン / その他外部機器の内部に保存されているデータの破損または消失および接続機器の故障については、いかなる場合においても弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Bluetooth® 無線技術について

本製品に搭載されている Bluetooth 機器は 2.4 GHz 帯の周波数を使用しています。このため、以下の注意事項をよく読んで、正しく使用してください。

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局設備として、技術基準適合証明を受けていますので、使用にあたり無線局の免許は必要ありません。
- 本機は技術基準適合証明を受けていますので、絶対に分解や改造をしないでください。また、本機に貼ってある認証ラベル ( マーク記載) をはがさないでください。法律で罰せられる場合があります。
- 電子レンジ、デジタルコードレス電話、無線 LAN、他の Bluetooth 機器などは同じ周波数帯を使用しています。これらの機器と相互に電波干渉しないよう、はなして使用してください。
電波が届かない場合があります。
- 接続する Bluetooth 機器や周囲の環境によっては、雑音が発生する場合があります。
- Bluetooth の特性上、送信側の再生よりも若干遅れて音声が出力されます。
- 接続しようとする機器の Bluetooth バージョンやプロファイル (通信手段) が本機と異なる場合は接続できません。
- 本機は日本国内でのみ使用できます。
- Bluetooth による通信によって発生した損害については、本製品の不具合を除き、弊社では一切の責任を負いません。
-  Bluetooth® のマークとロゴは、Bluetooth SIG, INC. の登録商標で、ライセンスに基づき使用しています。

結露（露つき）についてのご注意

本機を、冬季に寒い外から急に暖かい部屋に移動したときや、夏季に冷房のきいた部屋・車内から急に温度・湿度の高い屋外に移動したときなど、本体内部に結露が発生することがあります。

結露によって内部に水滴が付いた状態で電源を入れると故障の原因になります。本機に急激な温度変化を与えないように注意してください。

もし機体に水滴がついてしまった場合には、すぐにはご使用にならずに、水滴がなくなるまでしばらく放置するか、ゆっくり部屋の温度を上げて乾燥してからご使用ください。

受信できるテレビ放送について

本機では、地上デジタル放送とワンセグ放送を受信することができます。

BS、110度CS デジタル放送を受信することはできません。

データ放送には対応していません。

緊急警報放送による自動起動には対応していません。

CATV(ケーブルテレビ) は、同一周波数パススルー方式のみに対応しています。

CATV の受信には、使用する機器ごとに CATV 会社との受信契約が必要です。

CATV の方式については、共同受信システム管理者へお問い合わせください。

放送サービスに関するお問い合わせ

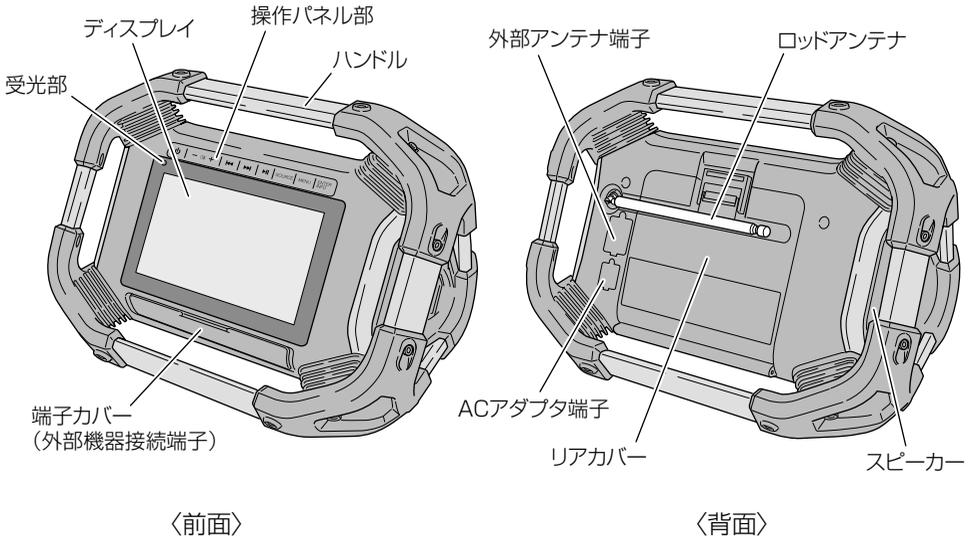
- 地デジ 放送エリアのめやす
一般社団法人 放送サービス高度化推進協会ホームページ：
<http://apab-tv-area.jp/>
- テレビの受信障害等に関するお問い合わせ
お住まいの地域を担当している総務省の各総合通信局等の窓口までご相談ください。
詳しくは、下記ホームページなどでご確認ください。
総務省ホームページ：
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/dtv/contact.html

著作権について

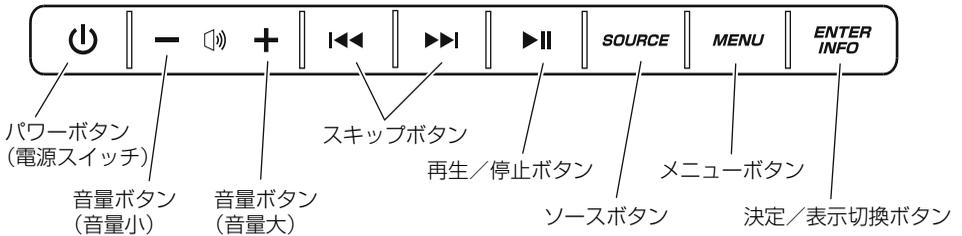
- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- この製品は、Microsoft Corporation の知的財産権によって保護されています。Microsoft Corporation からライセンスを得ることなく、この製品以外でこれらの技術を使用または販売することは、禁じられています。
- この製品は、AVC、MPEG-4、VISUAL 規格特許ライセンスのもとで、個人的利用および非商業利用目的に限り、お客様が以下のいずれか、または両方の使用を行うことが許諾されています。(i) AVC、MPEG-4、VISUAL 標準規格に従いビデオをエンコードすること（以下「AVC ビデオ」、「MPEG-4 ビデオ」という）、(ii) 個人的、非商業的行為においてお客様によりエンコードされた、または / および AVC ビデオ、VC-1 ビデオ、MPEG-4 ビデオを提供するために MPEG LA からライセンスを受けたビデオ提供者から取得した、AVC ビデオ、MPEG-4 ビデオをデコードすること。他の使用者についてはライセンスを許諾されていません。上記以外の販売、社内利用および商業的利用など利用 / 許諾に関する情報については、MPEG LA の HP (<http://www.mpegla.com>) より入手いただけます。
- この製品は、Fraunhofer IIS および Thomson の MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの登録商標、または商標です。なお、本文中では ™、® マークは省略している場合があります。

各部の名称

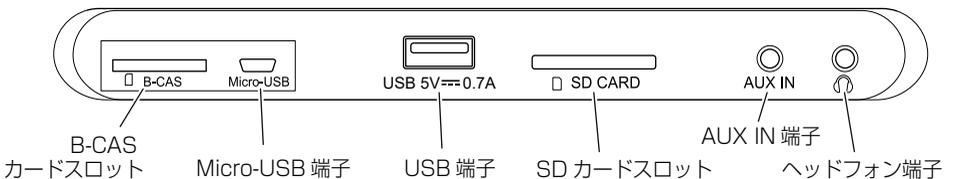
本体



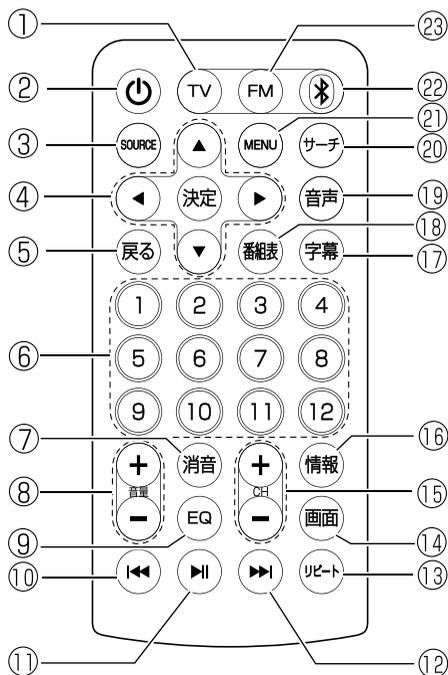
操作パネル部



外部機器接続端子



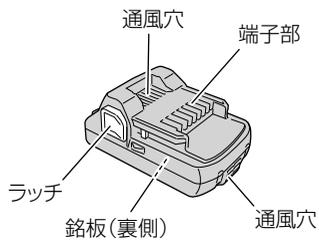
リモコン



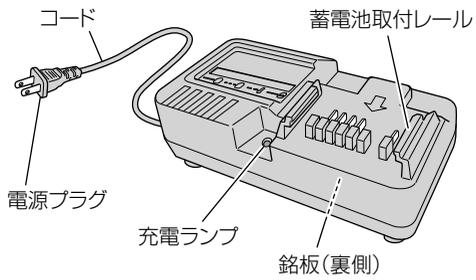
①	テレビボタン	⑬	リピートボタン
②	スタンバイボタン	⑭	画面設定ボタン
③	ソースボタン	⑮	チャンネル切替ボタン
④	カーソル / 決定ボタン	⑯	情報ボタン
⑤	戻るボタン	⑰	字幕切替ボタン※
⑥	数字ボタン	⑱	番組表ボタン
⑦	消音ボタン	⑲	音声切替ボタン
⑧	音量ボタン	⑳	サーチボタン
⑨	イコライザ (EQ) ボタン	㉑	メニューボタン
⑩	スキップボタン (戻り)	㉒	Bluetooth ボタン
⑪	再生 / 一時停止ボタン	㉓	FM ボタン
⑫	スキップボタン (送り)		

※ 本製品は字幕機能に対応していないため、動作しません。

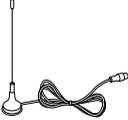
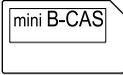
蓄電池



充電器



標準付属品

品名（形名）	形名 仕様	UR 18DSML	
		LSG	NN
リモコン		1 個	1 個
AC アダプタ		1 個	1 個
外部アンテナ		1 個	1 個
液晶保護フィルム		1 枚	1 枚
単 3 乾電池		2 本	2 本
単 4 乾電池		2 本	2 本
mini B-CAS カード		1 枚	1 枚
蓄電池 BSL 1830C		1 個	—
充電器 UC 18YKSL		1 台	—
電池カバー		1 個	—

仕 様

1. 本体

形 名		UR 18DSML
周波数帯域	デジタルテレビ	470 ~ 770 MHz
	F M	76 ~ 108 MHz
本 体 ア ン テ ナ		ロッドアンテナ
ス ピ ー カ ー		90 mm (8 Ω) × 2 個
接 続 端 子	外部アンテナ端子	75 Ω F型コネクタ
	ヘッドフォン端子	φ 3.5 mm ステレオミニジャック
	B-CASカードスロット	mini B-CAS 対応
	SDカードスロット	SD / SDHC 対応 (最大 32 GB)
	USB 端子 (A タイプ)	USB 2.0 (給電 DC 5 V 最大 0.7 A)
	USB 端子 (micro B タイプ)	ソフト更新用*
	A U X 端 子	φ 3.5 mm (映像 + 音声)
液 晶 ディスプレイ	サ イ ズ	8 インチ
	画 素 数	横 1,024 × 縦 600
実 用 最 大 出 力		7 W × 2
Bluetooth		使用周波数帯域 : 2.4 GHz 帯 (2.400 ~ 2.4835 GHz) 変調方式 : FHSS 変調方式 Bluetooth 標準規格 Ver. 4.0 対応 Bluetooth プロファイル : A 2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio Video Remote Control Profile) Class 2 SCMS-T 対応
防 水 性 能		IPX4
連 続 使 用 時 間		BSL 1830C : 約 5 時間 (TV 受信、音量 10、EQ 設定 (Bass 5/Treble 5)、 バックライト設定 5 の場合)
電 源		スライド式蓄電池 : DC 14.4 V、18 V バックアップ用乾電池 : DC 3.0 V (単 3 乾電池 2 本) 家庭用電源 : AC 100 V、50/60 Hz (付属の AC アダプタ使用)
外形寸法 (縦×横×高さ)		305 × 405 × 265 mm
質 量		4.2 kg (蓄電池および標準付属品を除く)

* テレビのソフトウェア更新時に使用する端子で、通常は使用できません。

2. 充電器

形名	UC 18YKSL
入力電源	単相交流 50/60Hz 共用 電圧 100 V
充電電圧	14.4 V または 18 V
充電可能蓄電池	リチウムイオン電池 14.4 V (BSL14xxシリーズ)、18 V (BSL18xxシリーズ)
蓄電池充電時間 ^{※1} [気温 20℃時]	6.0 Ah品: 約 180分 5.0 Ah品: 約 150分 4.0 Ah品: 約 120分 3.0 Ah品: 約 90分 2.5 Ah品: 約 75分 2.0 Ah品: 約 60分 1.5 Ah品: 約 40分 1.3 Ah品: 約 35分
蓄電池充電電流	2.0 A
コード	2 心ビニールコード
質量	0.35 kg
使用温度範囲 ^{※2}	0℃～ 40℃
冷却	非対応
充電ランプ	赤色 LED

※1: 蓄電池の充電時間は、周囲温度や蓄電池の状態により長くなる場合があります。

※2: 周囲温度が 0℃未満のときは、充電時間が長くなる場合があります。

3. 蓄電池

形名	BSL 1830C
種類	円筒密閉形リチウムイオン電池
電池電圧	18 V
容量	3.0 Ah
冷却	対応

基本操作

本機をお楽しみいただくには、電源を入れた後、はじめに視聴したいソースを選びます。システム設定では、現在日時の設定、システムの初期化を行います。チャンネル、画質、音質、電源の自動入/切などの設定は、メニュー画面で行います。

●電源を入れる

本体のパワーボタンを押して電源を入れ、本体を起動します。

パワーボタン：本体… 

※ リモコンのスタンバイボタンを押しても、電源は入りません。

●スタンバイ切換

電源が入っている時にリモコンのスタンバイボタンを押すと、スタンバイ状態になります。

スタンバイ状態のときは、本体のパワーボタンが赤に点灯します。

再度スタンバイボタンを押すと、スタンバイ状態から電源が入ります。

スタンバイボタン：リモコン… 

注 スタンバイ状態になってから、約 24 時間後に電源が切れます。切れた場合、本体のパワーボタンを押して、電源を入れてください。

●ソース選択

本体、またはリモコンのソースボタンを押すと、ソース(入力)選択画面が表示されます。

ソースボタン：本体… 

リモコン… 

スキップボタン、またはカーソルボタンでご希望のソースを選択し、決定ボタンを押します。

スキップボタン：本体… 

カーソルボタン：リモコン… 

決定ボタン：本体… 

リモコン… 

各ソースの画面に切替わります。

※ 選択中の項目は、緑色にハイライト表示されます。

※ 「デジタル TV」、「FM」、「Bluetooth」の場合、リモコンの 、、 ボタンを押すと [ソース選択画面] は表示されず、各ソースの画面に切替わります。

ソース	おもな機能	ページ
デジタル TV	地上デジタルテレビの視聴	29
FM	FM ラジオの聴取	31
Bluetooth	Bluetooth 対応機器の音楽の再生	33
SD カード	SD カードの動画、音楽、写真の再生	34
USB	USB メモリーの動画、音楽、写真の再生	34
AUX	ビデオカメラ、携帯音楽プレーヤーなどの動画、音楽の再生	37～39
システム設定	現在日時の設定、システムの初期化	40

● 音量調整

音量は本体、またはリモコンの音量ボタンで調整します。

音量ボタン：本体…  

：リモコン… 

● チャンネル切換

テレビ、ラジオのチャンネル切換は、本体のスキップボタン、またはリモコンの数字ボタン、チャンネル切換ボタンで行います。

〈テレビ〉

本体 (スキップボタン) …  

リモコン (数字ボタン) …  ~ 

リモコン (チャンネル切換ボタン) …  

〈ラジオ〉

本体 (スキップボタン) …  

リモコン (カーソルボタン) …  

リモコン (チャンネル切換ボタン) …  

※ あらかじめ、放送局 (受信周波数) の登録をしてください。(P.29、P.31)

● 外部機器の再生

Bluetooth 対応機器、USB メモリー、SD カードのデータの再生は下記ボタンで操作します。

再生 / 一時停止：本体 … 

：リモコン … 

選曲 (トラック変更)：本体 …  

：リモコン …  

〈Bluetooth 時〉

早送り / 早戻し (長押し)：本体 …  

〈SD カード / USB メモリ時〉

早送り / 早戻し：リモコン …  

※ カーソルボタンを押すごとに、×2、×4、×8 と速度を変えることができます。

※ Bluetooth 対応機器は、あらかじめ本機とペアリングをしてください。(P.33 参照)

※ SD カード、USB メモリーは、本機に正しく装着してください。

※ AUX 端子で接続した外部機器は、本機では操作できません。外部機器側で操作してください。

● 各種設定

メニューボタンを押すとメニューリストが表示されますが、ソースによって内容は異なります。

本体、またはリモコンのメニューボタンを押すと、メニューリストが表示されます。

メニューボタン：本体… 

：リモコン… 

スキップボタン、またはカーソルボタンで設定したい項目を選択し、決定ボタンを押します。

スキップボタン：本体… 

カーソルボタン：リモコン… 

決定ボタン：本体… 

：リモコン… 

さらに詳細メニューリストが表示される場合は、選択、決定を繰り返します。

メニュー項目

項目	おもな機能	ページ
自動サーチ(テレビ)	テレビ放送の受信可能な周波数を自動で検索	29
手動サーチ	テレビ放送の周波数を手動で検索	30
本体 / 外部アンテナ切替	本体アンテナ、外部アンテナの切替	29
テレビ設定	番組表表示、音声切換えなどの設定	30
自動サーチ(FM)	FM 放送の受信可能な周波数を自動で登録	32
プリセット登録	FM 放送を好みのチャンネル番号に登録	32
ステレオ設定	FM 放送のステレオ / モノラル切換	32
EQ 設定	高音、低音のレベル設定(イコライザー設定)	38
目覚まし設定	自動電源入時刻の設定	41
スリープ設定	自動電源切時間の設定	41
ファイルリスト	フォルダ / ファイルの表示、選択	35
自動再生設定	写真の自動再生モード、表示間隔の設定	36
画面設定	映像の明るさ、コントラストなどの設定	38
色温度設定	映像の色バランスの設定	39
アスペクト比	映像サイズの選択	39
Exit menu	メニュー画面を閉じる	—

※ ソースごとに、設定可能な項目のみ表示されます。

※ 項目によっては、さらに詳細メニューが表示されます。

注 いくつかのソースで設定可能な共通項目は、設定可能なすべてのソースに適用されません。ソースごとの設定はできません。

[例] FM のメニュー画面]



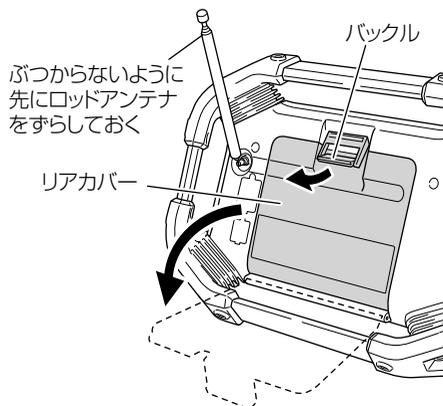
※ 選択中の項目は、緑色にハイライト表示されます。

ご使用前の準備

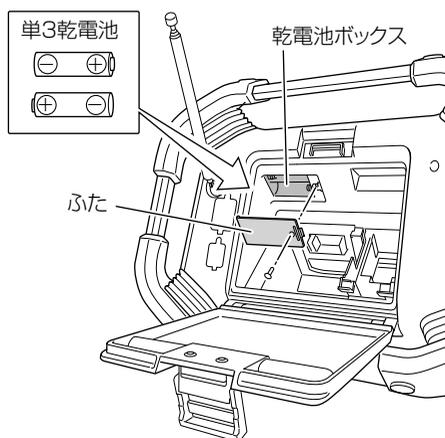
●バックアップ用乾電池の取付け

バックアップ用の乾電池を入れておくことで、時刻やラジオ局の周波数を記憶しておくことができます。

- ① 背面のバックルをはずし、リアカバーを開けると、バックアップ用乾電池ボックスがあります。



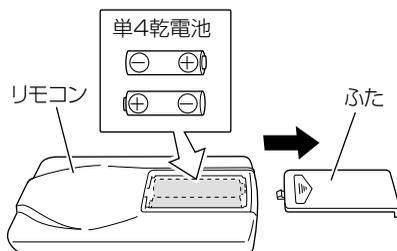
- ② 乾電池ボックスのふたを開け、表示されている乾電池の方向と同じ向きに、付属の単3乾電池2本を入れます。



- 注**
- 乾電池のプラス電極 (+) とマイナス電極 (-) を間違えないでください。
 - 乾電池は2本同時に交換してください。古い乾電池と新しい乾電池を混合して使用しないでください。
 - 乾電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中に入れてください。

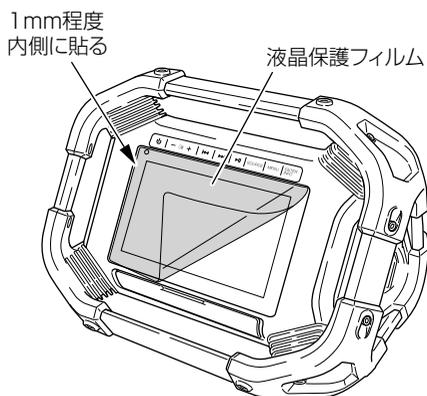
● リモコン用乾電池の取付け

リモコンのふたを開け、表示されている乾電池の方向と同じ向きに、付属の単4乾電池2本を入れます。



● 液晶保護フィルムの貼り付け

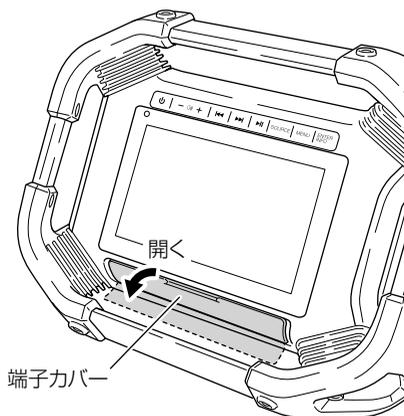
液晶ディスプレイの傷付きを防止するため、付属の液晶保護フィルムを貼り付けてください。



● miniB-CAS カードを挿入する

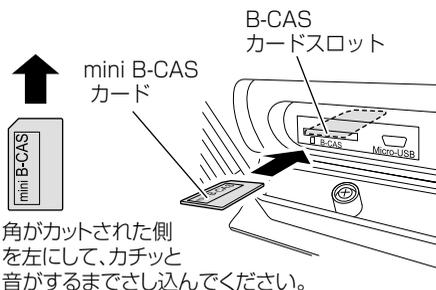
デジタル放送を受信するためには、本体に miniB-CAS カード（付属）を挿入しておく必要があります。

- ① 電源を切り、蓄電池、AC アダプタが接続されていないことを確認します。



- ② 端子カバーを開き、miniB-CAS カードを奥までまっすぐさし込みます。

miniB-CAS カードを取り出すには、カードの中央部を押し、まっすぐ引き出します。



注 ● miniB-CAS カード以外は絶対に挿入しないでください。

- miniB-CAS カードの挿入 / 取り出しをするときは、急に指をはなさないでください。
- SD カードスロットに、miniB-CAS カードを挿入しないでください。取り出せなくなります。
- miniB-CAS カードの取り扱いについては、カードに貼ってある台紙の説明をご覧ください。
- お問い合わせは（紛失時など）
（株）ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ・カスタマーセンター
TEL：0570-000-250

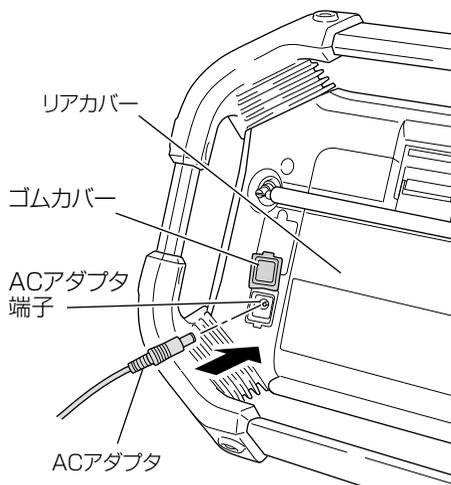
●ACアダプタの取付け

付属のACアダプタで交流100Vの家庭用コンセントから電源を取ることができます。

ゴムカバーをめくり、ACアダプタ端子へACアダプタをつなぎます。

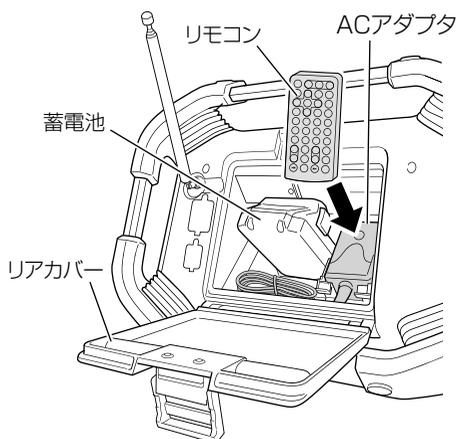
次に、ACアダプタの電源プラグをコンセントにさし込みます。

- 注**
- ACアダプタと蓄電池を同時に使用したときには、ACアダプタが優先されます。
蓄電池は消費されません。
 - 本機には蓄電池への充電機能がありませんので、ACアダプタと蓄電池を同時に使用しても、蓄電池は充電されません。



リモコン、ACアダプタの収納方法

リモコンおよびACアダプタは、リアカバー内部に収納することができます。



●蓄電池の取付け・取りはずし

お買い上げ後、はじめてお使いになるときは、はじめに蓄電池を充電してください。(P.27「充電する」参照)

⚠注意

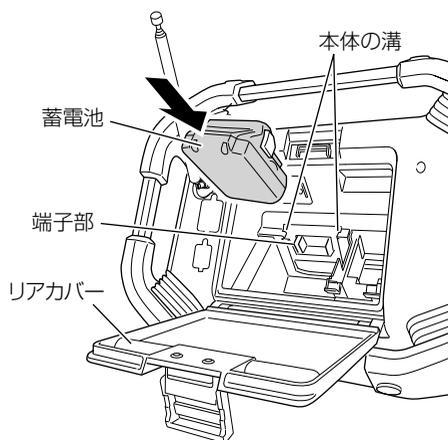
端子部には触れないでください。

端子部で手を切るなど、思わぬけがの原因になります。

本機には 14.4 V または 18 V のスライド式蓄電池のみ使用できます。

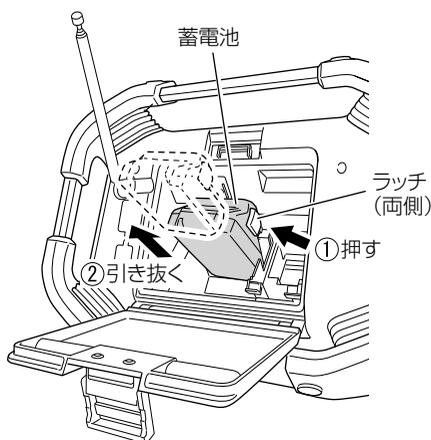
蓄電池の取付け

リアカバーを開けて、蓄電池を本機の溝に合わせ、奥まで挿入します。



蓄電池の取りはずし

蓄電池をテレビ本体から取りはずすときは、両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



注 ●蓄電池を挿入するときは、無理な力をかけないでください。簡単に入らないときは、正しく挿入されていません。

取付ける向きが正しいか、異物が挟まっていないか確認してください。

●蓄電池を取付けて電源を入れたとき、が表示されたときは、蓄電池の容量が少なくなっています。

ACアダプタを使用するか、充電された蓄電池を取付けてください。

充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

警告

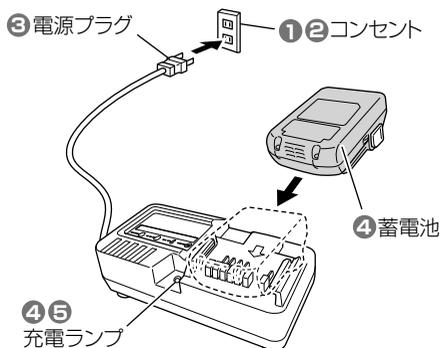
手順 ①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

充電時間 [気温 20℃時]

BSL 1830C

約 90 分

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。



1 電源を確認する

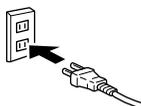
この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。また、直流電源やエンジン発電機、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。

2 コンセントを確認する

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電ランプが点滅を繰り返します。
(P.28「充電ランプの表示について」参照)



4 蓄電池を充電器にさし込む

- 蓄電池をしっかりと突き当たるまでさし込んでください。
- 充電ランプが点滅から連続点灯になり、充電が始まります。

5 充電の完了

- 充電ランプが点滅して充電完了をお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」がついています。ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプの表示		本体 シリアルマーク	表示内容
点滅	0.5秒点灯 / 0.5秒消灯 	/	電源にさし込んだ状態 (蓄電池がさし込まれていない)
点灯	連続点灯 		充電中
点滅	0.5秒点灯 / 0.5秒消灯 		充電完了
遅い点滅	1秒点灯 / 0.5秒消灯 		蓄電池の温度が高くて充電できない。 (温度が下がると自動的に充電を開始します。)
速い点滅	0.1秒点灯 / 0.1秒消灯 		充電器または蓄電池に異常あり。

注 ●充電ランプが速い点滅(0.1秒点灯/0.1秒消灯)を繰り返すときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取り除いてください。

異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。

●電源プラグをコンセントにさし込んでも充電ランプが点滅しない場合、充電器の保護回路が動作している可能性があります。

電源から取りはずして約30秒後、再度電源につないでください。

それでも充電ランプが点滅しない場合、お買い求めの販売店にご持参ください。

●一度充電が完了した後、次の充電まで15分程度休ませてください。

同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

●工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電してください。

すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。

●工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電してください。

無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。

●正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がつかしたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。

寿命のついた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

テレビを見る

地上デジタル放送を見るための準備をします

●アンテナの準備

テレビを視聴するときは、アンテナを準備してください。

注 地域・場所によっては、受信状態が悪くなったり、映らなかったりする場合があります。

本体アンテナを使う

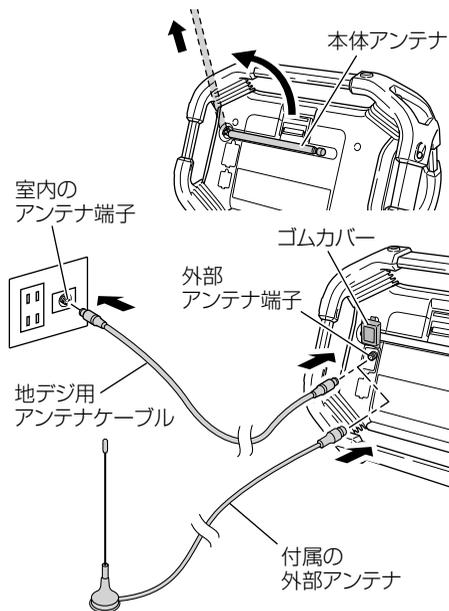
背面のアンテナを立てて、受信状態を確認しながら向き、長さ、角度を調整します。

注 本体アンテナを使う場合は、本体 / 外部アンテナ切換で、本体アンテナに設定してください。

外部のアンテナ端子に接続する

より安定した受信のために、本機の外部アンテナ端子と付属の外部アンテナや、屋外 UHF アンテナを、別売の地デジ用アンテナケーブルで接続します。

注 外部アンテナを使う場合は、本体 / 外部アンテナ切換で、外部アンテナに設定してください。



●チャンネルの設定

自動サーチを使う

「デジタル TV」のメニューリストより、「自動サーチ」を選択、決定します。

「自動サーチを行います。よろしいですか」のメッセージが表示されたら「YES」を選択し、決定ボタンを押します。

リモコンの「サーチ」ボタンでも実行できます。

「手動サーチ」については、P.30 をご覧ください。

以上により、地上デジタル放送が手軽にお楽しみいただけますが、さらに便利な機能と設定について次ページをご覧ください。

● その他の機能と設定

受信情報表示

テレビ視聴中に、リモコンの「情報」ボタンを押すと、以下の情報が表示されます。

- ・番組の説明
- ・チャンネル番号、放送局名
- ・現在時刻
- ・受信信号強度
- ・番組名および番組の時間帯

番組表表示

テレビ視聴中に、リモコンの「番組表」ボタンを押すと、番組表が表示されます。

※ メニュー画面で「テレビ設定」「番組表 (EPG)」を選択、決定すると、本体からの操作でも表示できます。

地上 D / ワンセグ切換

「デジタル TV」のメニューリストより、「テレビ設定」「地上 D / ワンセグ切換」を選択、決定します。

「自動」/「地上 D (固定)」/「ワンセグ (固定)」から選んで、決定します。

B-CAS カード情報表示

「デジタル TV」のメニューリストより、「テレビ設定」「B-CAS カード情報」を選択、決定すると B-CAS カード情報が表示されます。

すべてのテレビリスト表示

テレビ視聴中に、リモコンの「決定」ボタンを押すと、すべてのテレビリストが表示されます。

画面の「テレビリスト」内で番組を選択、決定するとチャンネルが切替わります。

手動サーチ

「デジタル TV」のメニューリストより、「手動サーチ」を選択、決定します。

放送局 (周波数) を一つずつ設定できます。

音声切換

テレビ視聴中にリモコンの「音声」ボタンを押すと、音声を切換えできます。

※ メニュー画面で「テレビ設定」「音声切換」を選択、決定すると、本体からの操作でも切換えできます。

二重音声切換

「デジタル TV」のメニューリストより、「テレビ設定」「二重音声切換」を選択、決定すると、音声切換えができます。

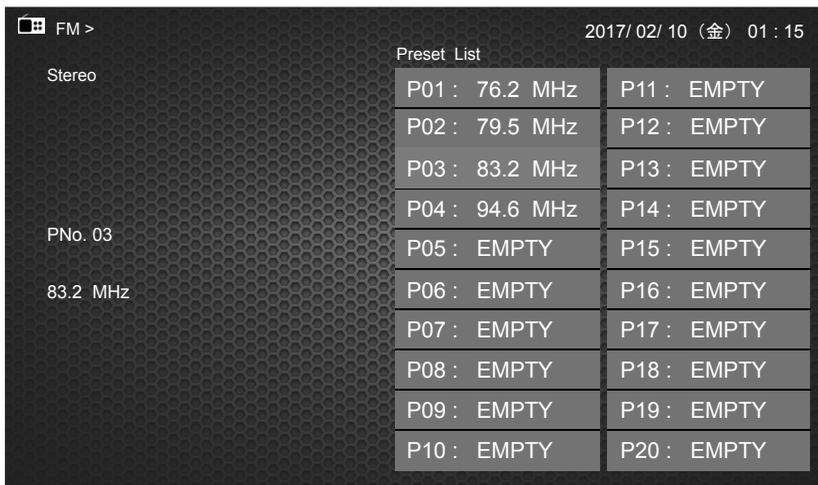
その他の設定

「画面設定」「色温度設定」「アスペクト比」「EQ 設定」については、P.38、39 をご覧ください。

ラジオ放送を聞く

- FM・AM 放送を聞く
- 選局は自動、手動、プリセット（登録）の3通り

● FM ソース画面



何も操作しないと約3分後に画面は消灯します。いずれかのボタンを押すと再び点灯します。

● アンテナの準備

P.29「テレビを見る」と同様に、アンテナを準備してください。

- 地域・場所によっては、受信状態が悪くなる場合があります。

● 選局する

選局方法は次の2通りあります。

本体	リモコン
1. プリセットチャンネルで選局 ^{*1}	
	 または
2. 手動選局 ^{*2}	
—	

※1: はじめに放送局のプリセット（登録）が必要です。

本体からのチャンネル番号の切換えはできません。

※2: ボタンを押すごとに、0.1 MHz ずつ周波数が変わります。

●チャンネルの設定

ご購入時は放送局がプリセット（登録）されていません。
設定方法は2通りあり、「自動サーチ」では、自動で最大20チャンネル登録でき、「プリセット登録」では1チャンネルごとに好みのチャンネルに登録できます。

自動サーチ

「FM」のメニューリストより、「自動サーチ」を選択、決定します。

「自動サーチを行います。よろしいですか」のメッセージが表示されたら「YES」を選択し、決定ボタンを押します。

最大20チャンネルの受信可能な周波数に、自動でチャンネル番号が割り当てられます。

「MENU」ボタンでFMソース画面に戻ります。

プリセット登録

登録したい周波数に合わせます。

「FM」のメニューリストより、「プリセット登録」を選択、決定します。

お好みのチャンネル番号を選択し、決定します。

「MENU」ボタンでFMソース画面に戻ります。

●その他の設定

ステレオ設定

「FM」のメニューリストより、「ステレオ設定」を選択、決定します。

「ON」/「OFF」から選んで、決定します。

その他の設定

「EQ設定」については、P.38をご覧ください。

Bluetooth 機器と接続する

スマートフォン、携帯音楽プレーヤーなどの、Bluetooth 対応機器に保存した音楽を再生する

スマートフォン、携帯音楽プレーヤーなどが Bluetooth 対応機器の場合、Bluetooth 通信によって本機から音声を出力できます。

1

ペアリング (機器の登録) をする

Bluetooth 通信をするためには、まずペアリングを行います。
お手持ちの Bluetooth 機器を、ペアリングモードにします。
(操作方法が不明な場合は、お手持ちの Bluetooth 機器の、取扱説明書をお読みください。)

2

本機をペアリングモードにする

ソースボタンを押して「Bluetooth」画面を表示します。
お手持ちの Bluetooth 機器に表示された接続機器リストから「UR18DSML」を選びペアリングをします。

注 Bluetooth 機器によっては、本機の操作ボタンで動作しないことがあります。

〈ペアリング待機状態〉



〈ペアリング状態〉



3

パスキーを入力する

Bluetooth 機器によっては、接続時にパスキーの入力を求められます。この場合は「0000」を入力します。また、接続の許可を求められる場合は「許可」を入力してください。「Connected」と表示されれば、接続完了です。

- 注**
- 一度ペアリングをすると次回からは自動的に接続されますが、接続されないときは、再度ペアリングを行ってください。
 - ペアリングされないときは、お手持ちの Bluetooth 機器に表示された「UR18DSML」の登録を一度解除して、再度ペアリングを行ってください。
 - 同時に2台以上の機器とペアリングをすることはできません。
 - 全ての Bluetooth 機器との接続を保証するものではありません。必ず事前に接続の可否を確認してください。

4

再生する

お手持ちの Bluetooth 機器の音量を下げたから、曲を再生します。
音量は本機でも調節できます。

● その他の設定

「EQ 設定」については、P.38 をご覧ください。

SDカード、USBメモリーから再生する

SDカードやUSBメモリーの
動画、音楽、写真を楽しむ

●再生できる SD カード、USB メモリーについて

規格と使用方法をお確かめのうえ、正しくお使いください。

種 類	SD メモリーカード	SDHC メモリーカード	USB メモリー
□ ゴ			—
フォーマット	FAT16、FAT32		
再生できる ファイル形式	動画	MPEG2、MPEG4、H.264	
	音楽	MP3、AAC、WMA	
	静止画	JPEG、BMP	

注 ●本書では「SD メモリーカード」「SDHC メモリーカード」を「SD カード」と記載しています。

- miniSD カード、microSD カード / microSDHC カードは、必ず専用の SD カードアダプターに装着してから本機にさし込んでください。
- 対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障、破損する恐れがあります。
- SD カードのフォーマット形式や使用状態などによっては、上記のカードでも本機で使用できない場合があります。カードの読み込みが正常に動作しない場合は、本機から SD カードを取り出してください。
- SD カードがロック状態では、ファイル読み込みができない仕様になっています。ロックを解除した状態で使用してください。
- 対応していない USB 機器は接続しないでください。
- 全ての USB 機器との接続を保証するものではありません。
- 再生中に SD カードや USB 機器の抜きさしを行わないでください。本機や SD カード、USB 機器の故障の原因となります。
- Micro-USB 端子はソフト更新専用で、通常の使用はできません。
- SD、SDHC ロゴは SD-3C、LLC の商標です。

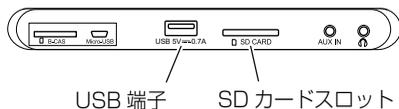
⚠注意

- 予期できない問題が生じた場合、接続した SD カードおよび USB メモリーの内部に保存されているデータが破損したり消失する恐れがあります。万一の場合に備えて、必ず事前にバックアップをしてください。
- SD カードおよび USB メモリーの読み出し中、再生中は、電源を切ったり SD カードおよび USB メモリーを取り出したりしないでください。記録されているデータが破壊される恐れがあります。

1

SD カード、USB メモリーを本機にさし込む

再生したい SD カード、または USB メモリーを、本機のスロット部に上下（表裏）の向きに注意して、奥までしっかりさし込みます。



2

ソースを選択する

ソースを SD カード > 動画 / 音楽 / 写真、または USB > 動画 / 音楽 / 写真から選択します。
すると、データのフォルダリストが表示されます。

3

フォルダ、ファイルを選択する

再生したいフォルダおよびファイルを選択、決定すると再生されます。

- 注** フォルダおよびファイルは、選択したソースのデータのみ表示します。
例えばソースで動画を選択した場合、音楽、写真のデータは表示されません。

● ファイルリストを表示する

SD カード、または USB メモリーに保存されているデータはファイルリストで確認できます。

「SD カード」、または「USB」のメニューリストより、「ファイルリスト表示」を選択、決定すると、選択したソースのファイルリスト（フォルダ、ファイル）が表示されます。

再生したいフォルダおよびファイルを選択、決定すると再生されます。

- 注** ● ファイルリストは、選択したソースのデータのみ表示します。例えばソースで動画を選択した場合、音楽、写真のデータは表示されません。
- 本機は半角カタカナ表示に対応していません。
フォルダ名やファイル名にカタカナを使用する場合は、全角カタカナを使用してください。

●写真の自動再生条件を設定する

「SD カード」、または「USB」の「写真」メニューリストより、「自動再生設定」を選択、決定します。

「ON」を選択した後、「再生モード」を「通常」/「ランダム」より、また、「写真表示間隔」を「5」/「10」/「30」/「60」秒より選択、決定します。

「MENU」ボタンを押すとメニューリストが消えます。

●その他の設定

「画面設定」「色温度設定」「アスペクト比」「EQ 設定」については、P.38、39 をご覧ください。

外部機器の動画、音楽を再生する

ビデオカメラや携帯音楽プレーヤーなどの動画、音楽を楽しむ

ビデオカメラや携帯音楽プレーヤーなど、外部機器の動画、音楽を再生することができます。

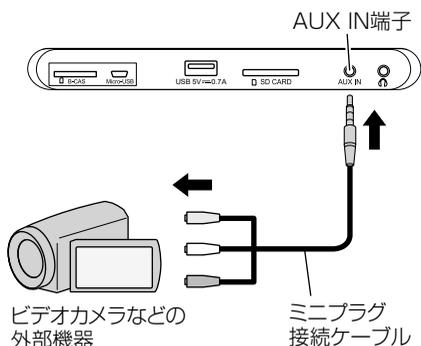
⚠️ 注意

プレーヤー側の音量を下げてから再生してください。

1

外部機器を接続する

本機の電源を切り、ミニプラグ接続ケーブル(φ 3.5 mm 映像 + 音声)(市販品)を本体のAUX IN 端子に接続し、外部機器の映像、音声出力端子と接続します。



- 注**
- ビデオカメラや DVD プレーヤーなどのビデオ出力対応機器を接続する場合、映像端子付きの 4 極ミニプラグケーブルを準備してください。
 - スマートフォンは音声のみしか出力できません。
 - 映像信号がない場合は、画面に「NO SIGNAL」と表示されます。

2

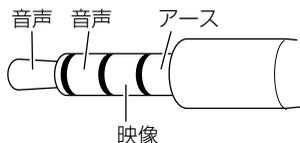
再生する

本機の電源を入れ、ソースボタンを押して「AUX」を選択、決定します。お手持ちの外部機器の音量を下げてから動画、または音楽を再生します。音量は本機でも調節できます。

注 外部機器側の音量が小さいと、音量が上がらない場合があります。

- 注**
- スマートフォンを接続した際、着信時に、着信音がスピーカーから出ない機種があります。
 - 炎天下など、高温になる場所で使用すると外部機器が故障する恐れがあります。

※ 4 極ミニプラグ (映像 / 音声用) の配線仕様は、統一されていません。ご購入に際しては、下記の配線仕様のものを使用してください。



● その他の設定

「画面設定」「色温度設定」「アスペクト比」「EQ 設定」については、P.38、39をご覧ください。

音質、画質を調整する

- 音質(低音・高音)を10段階に調節
- 画質の選択や調整
- 画面サイズの選択

●EQ 設定

音質を自分好みに設定できます。

「EQ 設定」が有効なソース

- ・デジタル TV
- ・FM
- ・Bluetooth
- ・SD カード > 動画 / 音楽
- ・USB > 動画 / 音楽
- ・AUX

「MENU」リストより行う場合

上記ソースのメニューリストより「EQ 設定」を選択、決定して行います。

詳細メニューより、Bass(低音)、または Treble(高音)を選択し、それぞれ「1」～「10」より選択し、決定します。

リモコンの「EQ」ボタンより行う場合

リモコンの「EQ」ボタンを押すと、画面左側にポップアップが表示されます。

ポップアップメニューより、Bass(低音)、または Treble(高音)を選択し、それぞれ「1」～「10」より選択し、決定します。

注 いずれの方法でも、ひとつのソースで設定した内容は、有効なソースすべてに適用されます。ソースごとの設定はできません。

●画面設定

映像の明るさ、コントラストなどを3通りの固定値から選択する方法と、自分好みに設定する方法があります。

「画面設定」が有効なソース

- ・デジタル TV
- ・SD カード > 動画 / 写真
- ・USB > 動画 / 写真
- ・AUX

「MENU」リストより行う場合

上記ソースのメニューリストより「画面設定」を選択、決定して行います。

固定値から選ぶ場合は、「ダイナミック」/「スタンダード」/「マイルド」のいずれかを選択し、決定します。

自分好みに設定したい場合は、「ユーザ設定」を選択し、「明るさ」/「コントラスト」/「色」/「シャープネス」をそれぞれ「1」～「10」より選択し、決定します。

「バックライト」のみ「ユーザ設定」に加えて、「ダイナミック」/「スタンダード」/「マイルド」の全ての設定で調整できます。

リモコンの「画面」ボタンより行う場合

テレビ視聴中に「画面」ボタンを押すと、画面左側にポップアップが表示されます。

ポップアップメニューより、「ダイナミック」/「スタンダード」/「マイルド」/「ユーザ設定」のいずれかを選択し、決定します。

注 いずれの方法でも、ひとつのソースで設定した内容は、有効なソースすべてに適用されます。ソースごとの設定はできません。

● 色温度設定

色のバランスを3通りの固定値から選択する方法と、自分好みに設定する方法があります。

「色温度設定」が有効なソース

- ・ デジタル TV
- ・ SD カード > 動画 / 写真
- ・ USB > 動画 / 写真
- ・ AUX

上記ソースのメニューリストより「色温度設定」を選択、決定して行います。

固定値から選ぶ場合は、「ウォーム」/「ミディアム」/「クール」のいずれかを選択し、決定します。

自分好みに設定したい場合は、「ユーザ設定」を選択し、「赤」/「緑」/「青」をそれぞれ「1」～「10」より選択し、決定します。

注 ひとつのソースで設定した内容は、有効なソースすべてに適用されます。ソースごとの設定はできません。

● アスペクト比設定

画面の縦横比を設定できます。

「アスペクト比」が有効なソース

- ・ デジタル TV
- ・ SD カード > 動画 / 写真
- ・ USB > 動画 / 写真
- ・ AUX

上記ソースのメニューリストより「アスペクト比」を選択、決定して行います。

「オート」/「16:9」/「4:3」のいずれかを選択し、決定します。

注 ひとつのソースで設定した内容は、有効なソースすべてに適用されます。ソースごとの設定はできません。

システム設定する

- 現在日時の設定
- システムの初期化
- ソフトウェアの更新

ソース選択画面より、「システム設定」を選択し、決定します。

●日時設定

メニューリストより「日時設定」を選択、決定します。

年（西暦）がハイライト表示になりますので、スキップボタン、またはカーソルボタンで値を変更し、決定ボタンを押します。

スキップボタン：本体…  

カーソルボタン：リモコン…  

決定ボタン：本体… 

：リモコン… 

以下同様に、順に「月」「日」「時」「分」がハイライト表示になりますので、それぞれカーソルボタンで値を変更し、決定します。

●システムの初期化

メニューリストより「工場出荷時の状態に戻す」を選択、決定します。

右記の画面で「YES」を選択すると、工場出荷時の状態に戻り、トップ画面に戻ります。

タイマー機能を使う

- 目覚まし機能を使う
- 設定した時間に電源を OFF

●目覚まし設定

目覚まし機能を使うと、設定した時刻に電源が入り、選択したソースを起動することができます。

時刻設定

「時刻設定」を選択、決定すると、「時」がハイライト表示になりますので、スキップボタン、またはカーソルボタンで値を変更し、決定ボタンを押します。

つぎに、ハイライト表示になった「分」の値をスキップボタン、またはカーソルボタンで変更し、決定ボタンを押します。

スキップボタン：本体… 

カーソルボタン：リモコン… 

決定ボタン：本体…

：リモコン…

アラームモード

「アラームモード」を選択、決定し、繰返しの設定をします。

「1 回のみ」「毎日」「月～金」「土日」から選択し、決定します。

ソース

「ソース」を選択、決定し、ソース、またはチャンネルの設定をします。

- 目覚まし設定を解除するときは、再度設定で「目覚まし設定」、「OFF」を選択、決定してください。

注 音量は、直前の電源 OFF 時の音量で鳴ります。

●スリープ設定

スリープ機能を使うと、設定した時間に電源を切ることができます。

自動で電源を切るまでの時間を、スキップボタン、またはカーソルボタンで値を変更し、決定ボタンを押します。

設定できる時間は 10～240 分の間です。

スキップボタン：本体… 

カーソルボタン：リモコン… 

決定ボタン：本体…

：リモコン…

- スリープタイマーを解除するときは、再度、設定で「スリープ設定」、「OFF」を選択、決定してください。

USB 機器を充電する

USB 端子からスマートフォンや携帯電話などの充電をする

市販の USB 端子接続用充電ケーブルを使って、スマートフォンや携帯電話などの USB 機器を本機に接続して充電できます。

充電しながら、ほかのソースをお楽しみいただくこともできます。

- 注**
- SD カードモードでは、USB 充電はできません。
USB 充電をする場合は、ほかのソースに切替えてください。
 - USB 充電時、まれに音の途切れや、電源が落ちる場合があります。
その際は、音量を下げる、もしくは USB 充電を止めてください。
 - 充電時間は、使用する USB 機器によって異なります。
 - USB 機器の種類によっては、充電できない場合があります。

お手入れ・点検・保管

警告

長期間使用しないときや、お手入れ・点検・保管の際は、必ず電源スイッチを OFF にし、AC アダプタ、蓄電池を本体から取りはずしてください。

● 本体はきれいに

機体が汚れたら、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけてふき、そのあとにからぶきしてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用がありますので使わないでください。

● 機体の点検

各部位の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

● 製品の保管

次のような場所には保管しないでください。

- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 自動車の車内や直射日光の当たるところなど高温になるところ
- 冷気が直接吹き付けるところや、極端に寒いところ
- 温度が急変するところ
- 調理台や加湿器のそばなど、煙や湯気が当たるところ

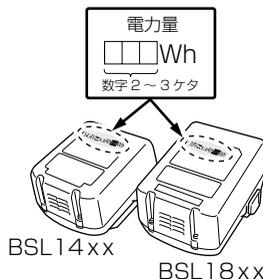
● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100 Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

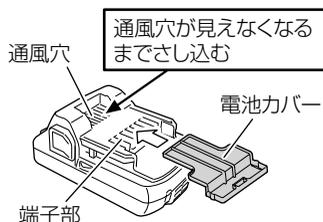


● リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材と一緒にしないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命が尽きたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、蓄電池が原因の場合もありますので、本体と蓄電池を組でご持参ください。

1. 電源など全般

状況	原因	対策
電源が入らない	ACアダプタが抜けている、またはコンセントの奥までさし込まれていない	ACアダプタをコンセントにしっかり奥までさし込んでください。
	蓄電池が確実に取付いていない	カチッとなるまで蓄電池を押し込んでください。
	蓄電池の残量がない	蓄電池を充電してください。
音が出ない	ボリュームが小さすぎる	音量を調整してください。
自動的に電源が切れた	スリープ機能が働いた	スリープ機能を解除してください。
	蓄電池が消耗した	蓄電池を充電してください。または、充電済みの物と交換してください。
日付・時刻が合っていない	バックアップ用乾電池が消耗した	バックアップ用乾電池を、新品に交換してください。

2. テレビ

状況	原因	対策
受信できない	B-CASカードが挿入されていない	B-CASカードを正しく挿入してください。
	チャンネルが設定されていない	チャンネルを設定してください。
	本体 / 外部アンテナの切り換えが間違えている	本体 / 外部アンテナの切り換えを、正しく設定してください。
フルセグ放送が受信できない	電波が弱い	室内アンテナ線と本機をアンテナケーブルで接続してください。
	B-CASカードが挿入されていない	B-CASカードを正しく挿入してください。
一部の放送が受信できない	地上デジタル放送が行われていない	地上デジタル放送が行われているか最寄りの放送局にお問い合わせください。
音声切換、または二重音声切換が機能しない	視聴している番組が音声切換、または二重音声切換に対応していない	音声切換、または二重音声切換に対応している番組でお試してください。
映像が乱れる / 止まる	アンテナの向きがずれている、アンテナケーブルがはずれたり、切れたりしている	アンテナの向き、アンテナケーブルの接続に問題ないか確認してください。
電源を入れたときやチャンネルを切り換えたときに、すぐに映像が表示されない	受信した信号を画面に表示するための処理を行っている	故障ではありません。 チャンネルの切り換えに数秒かかります。

3. FM

状況	原因	対策
受信できない	本体 / 外部アンテナの切り換えが間違えている	本体 / 外部アンテナの切り換えを、正しく設定してください。

4. Bluetooth

状 況	原 因	対 策
接続できない、もしくは音が途切れる	ペアリングができていない	ペアリングをしてください。
	近くにある無線 LAN など電波を発する機器の影響を受けている	影響のある機器と本機を遠ざけてみてください。
	Bluetooth 対応機器が本機からはなれすぎている	Bluetooth 対応機器を本機に近づけてみてください。

5. 外部機器 (USB メモリー、SD カード)

状 況	原 因	対 策
映像、音楽、写真が再生されない、フォルダ、ファイルが表示されない。	接続が正しく認識されていない	外部機器を再度接続してください。それでも認識されないときは、本機の電源を入れ直してみてください。
	外部機器が本機に対応していない	対応する外部機器を使用してください。

6. リモコン

状 況	原 因	対 策
リモコンが利かない	リモコンが受光部に向いていない	リモコンの送信部を、本機を受光器に向けて操作してください。
	リモコンと受光部の間が遠すぎる	約 3 m 以内のところまで操作してください。
	本体のリモコン受光部に直射日光など強い光が当たっている	強い光を避けて置いてください。
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を新品に交換してください。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>